

令和6年度 遠軽高等学校定時制課程 学校関係者評価

2025/5/1

1 学校教育目標

- 1 新たな価値を創造する力、知恵を持つ生徒を育てる（学習活動）
- 2 主体的に人生を切り拓く力、市民性を持つ生徒を育てる（キャリア教育・道徳教育）
- 3 心豊かで他者を思いやる力、共にはたらくことのできる生徒を育てる（特別活動）

2 スクール・ポリシー（育成を目指す資質・能力）

- 1 自己の人生を切り拓くことができる生徒（主体性）
- 2 自立し、他者と協働しながら新たな価値を創造することができる生徒（想像力）
- 3 地元を愛し、心豊かで人を思いやることができる生徒（コミュニケーション能力）

上段R6
下段R5

3 スクールミッション

- 1 変化する社会に対応するため、幅広い知識と教養を身につけ、他者と協働して課題解決を図ろうとする生徒の育成
- 2 望ましい勤労観、職業観を身につけ、自己実現のために努力する生徒の育成
- 3 遠紋地区唯一の夜間定時制として、リカレント機能を発揮し、体験等を通じて生徒が失敗や成功を繰り返す中で成長するとともに生徒自身の人生の選択肢探しを支援、自らの夢を叶えるチャンスと場所の提供
- 4 自立への扉まで案内・市民性を育て生徒自らが扉を開けようとする努力を支える環境の提供
(網掛け部分については、昨年度のものと比較し、数値が下がっている項目)

1～24の各平均
教職員 3.8
生徒 3.67
保護者 3.54

25～36は教職員のみ

【評価】よく当てはまる 4 少し当てはまる 3 あまり当てはまらない 2 当てはまらない 1

領域	No.	評価の観点	教職員	生徒	保護者	課題	改善の方策
学校運営	1	遠軽高校は学校教育目標に定める、育てたい生徒像、家庭や地域の期待に応えた教育内容になっていると思う。	3.6 3.5	3.6 3.4	3.9 3.4	・昨年よりすべての項目で数値が上がった。様々な場面で本校の理念や経営方針を周知するよう情報発信に努めた結果、地域、保護者等への理解が深まった。	・昨年度同様、より丁寧に、緊密な連携体制の構築を目指していく。
	2	遠高定時は、スクールポリシー・スクールミッションにある育成を目指す資質・能力を育てる教育活動ができていると思う。	3.5 3.3	3.6 3.4	3.9 3.1		
	3	遠高定時は、道徳教育全体計画に則り道徳教育を推進し、3Sを意識した指導ができていると思う。	3.5 3.6	3.6 3.4	3.9 3.1		
	4	遠高定時は、いじめに対して未然防止と適切な対応ができていると思う。	3.9 4.0	4.0 3.8	4.00 3.3		
	5	遠高定時は、夕映え、ホームページなどで、積極的に教育活動内容を情報発信できていると思う。	3.6 3.8	3.9 3.6	3.8 4.0		
	6	遠高定時のHR担任・教職員と保護者は、連携が取りやすい環境になっていると思う。	3.6 3.3	3.6 3.6	3.9 4.0		
	7	遠高定時の教職員は、来校者や電話連絡時など、丁寧に対応ができていると思う。	3.8 3.4	3.9 3.8	4.0 4.0		
	8	遠高定時は、生徒や保護者が、入学して良かったと思ってもらえる指導ができていると思う。	3.5 3.3	3.9 3.5	4.0 3.9		
学校関係者評価	目指す生徒像が具体化され、定時制の特色が見えてきている。次年度も期待したい。						

領域	No.	評価の観点	教職員	生徒	保護者	課題	改善の方策
学習指導	9	遠高定時の全ての授業は、基礎的・基本的な力を伸ばすものになっていると思う。	3.5 3.6	3.9 3.5	3.9 3.0	・概ね評価は上昇しているが家庭学習に対する取組が低いと感じている教員、保護者が増えている。「言われた」ことには取り組むが、「自ら」進んで取り組むことについて、課題がある。	・本校の生徒の実態を踏まえ引き続き「主体的、対話的で深い学び」に向けた授業の工夫・改善に取り組む。
	10	定時制生徒は、家庭学習課題など、家庭学習に取り組んでいると思う。	3.0 3.6	3.8 3.5	3.4 2.9		
	11	定時制に入学後、学習に対する意欲は向上したと感じている。	3.6 3.8	3.8 2.9	3.4 2.9		
	12	遠高定時の教員は十分な準備をして授業を行っていると思う。	3.4 3.5	3.9 3.6	4.0 3.7		
学校関係者評価		生徒の実情に合った教科指導を引き続きお願いしたい。					
生徒指導	13	遠高定時の教職員は、積極的に声をかけたり悩みを聴いたりするなど、生徒理解に努めていると思う。	3.8 3.3	3.9 3.6	4.0 3.4	・総体的にすべての評価が上がっている。今年度は保護者会議を4回開催し、学校・家庭との連携を強化し保護者等からの反応もよかった。これまでに以上に生徒理解のための目配り・気配りに課題がある。	・スクールカウンセラーの積極的な活用や生徒指導に係る職員間の情報共有に成果が見られたので次年度も生徒・家庭とのコミュニケーションを取り、生徒理解に努める。
	14	遠高定時は、社会のルールやマナーなどについて適切に指導できていると思う。	3.4 3.1	3.8 3.8	4.0 3.7		
	15	遠高定時の生徒会を中心に、協働する意識を高めるよう行事が行われていると思う。	3.9 3.9	4.0 3.8	4.0 3.0		
	16	遠高定時は、面談やカウンセリングによって、生徒の悩みや不安の解消に努めていると思う。	3.9 3.4	3.8 3.5	3.9 2.9		
学校関係者評価		保護者会議の開催は保護者としても情報の共有ができ成果として現れている。継続することをお願いしたい。					

領域	No.	評価の観点	教職員	生徒	保護者	課題	改善の方策
進路指導	17	遠高定時は、キャリア教育などを通じて、進路実現へ主体的に取り組む態度を育成できていると思う。	3.5 4.0	3.9 3.6	3.8 3.4	<p>・進路指導については、ほぼ昨年同様の数値となった。</p> <p>・昨年の課題であった、進路指導の取組や進路情報等について、保護者への理解、促進が見られた。</p>	<p>・引き続き保護者が進路指導に関する情報に触れることができる機会を増やすなどして、理解、促進に努める。</p>
	18	遠高定時は、生徒の進路希望に応じたきめ細やかな進路指導を実施できていると思う。	3.5 3.8	3.6 3.8	3.8 3.9		
	19	遠高定時は、生徒の進路について必要な情報を提供できていると思う。	3.4 3.6	3.8 3.6	3.8 4.0		
	20	遠高定時の進路指導は、適切に実施されていると思う。	3.6 3.9	3.9 3.8	3.9 4.0		
学校関係者評価		引き続き適切な指導をお願いしたい。					
健康・安全指導	21	遠高定時は、心身の健康と安全、感染症対策について適切に配慮できていると思う。	3.6 3.5	4.0 3.8	4.0 3.6	<p>・情報モラル教育の充実に努めることができた。本校の取組について、保護者等への理解、促進が見られてきた。</p>	<p>・事前指導に重点を置き、自らの健康を守るための規則正しい生活やSNSの利用も含め、引き続き指導を継続していく。</p> <p>・様々な機会を活用して、保護者等に周知していく。</p>
	22	遠高定時は、生徒の体調不良や怪我などをした場合に、適切に対応できていると思う。	3.8 3.6	3.9 3.9	4.0 3.7		
	23	遠高定時は、睡眠、食事、時間を守るなど、規則正しい生活習慣について適切に指導していると思う。	3.0 3.4	4.0 3.6	3.9 3.6		
	24	遠高定時は、スマートフォンやインターネット、SNS等の使い方について適切に指導できていると思う。	3.3 3.5	3.9 3.5	3.8 2.9		
学校関係者評価		生徒が安定した生活を送れているのも日頃の指導が浸透してきている。引き続き適切な指導をお願いしたい。					

領域	No.	評価の観点	教職員	生徒	保護者	課題	改善の方策
教職員	25	遠高定時は、各分掌間や学年間など、報告・連絡・相談が十分になされていると思う。	3.0	-	-	・ 数値は昨年同様である。職員間の連携が十二分に発揮できる職場環境づくりが重要である。教育課程編成については毎年研鑽を深め地域のニーズ、学校の特徴に合ったものになっている。	・ 自己目標シートを活用した面談などをタイムリー実施するなど、コミュニケーションを大事にした環境づくりに努める。
			3.0	-	-		
	26	遠高定時は、同僚や管理職と悩みや不安などを相談できるような職場環境になっていると思う。	3.0	-	-		
			3.1	-	-		
27	遠高定時は、身に付けさせたい資質能力が明確化され、それに沿った教育が実践できていると思う。	3.3	-	-			
		3.3	-	-			
28	遠高定時は、令和4年度の新学習指導要領実施に向けて、理解を深め、準備が順調に進んでいると思う。	3.8	-	-			
		3.6	-	-			
学校関係者評価		コミュニケーションを重視した職場環境づくりが重要である。					
危機管理	29	遠高定時は、教職員や生徒等の個人情報を持ち出さないなど、適切な情報保護ができていると思う。	3.6	-	-	・ 「危機管理」は普段からの意識が大切であることから、引き続き高い評価になるよう取り組む。	・ 危機管理マニュアルの見直しはもちろん、想定外の危機への対応についての研修を恒常的に行っていく。
			3.6	-	-		
	30	遠高定時は、部活動会計や生徒会会計など、適切な会計処理ができていると思う。	3.6	-	-		
			3.5	-	-		
31	遠高定時は、問題や事故の発生時など、速やかに管理職に報告できていると思う。	3.4	-	-			
		3.6	-	-			
32	遠高定時は、様々な危機の対応マニュアル化が進み、危機発生時迅速に行動できる体制となっていると思う。	3.4	-	-			
		3.3	-	-			
学校関係者評価		新たな危機について、日々刷新して対応できる体制を構築してほしい。					
施設設備	33	遠高定時は、施設設備の維持や管理が適切に行われていると思う。（維持・管理）	3.1	-	-	2年に渡る大規模改造工事が完了し施設がリニューアルした。有効活用に努めたい。	・ 定時制の予算のみならず、引き続き関係部署と調整をはかっていく。
			2.9	-	-		
34	遠高定時は、備品等の補充や施設設備の補修が十分になされていると思う。（補充・補修）	3.3	-	-			
		3.0	-	-			
学校関係者評価		生徒のために環境整備を引き続きよろしく願いたい。大規模改造計画で施設も刷新され、我々としても期待感がある。					
働き方改革	35	遠高定時は、業務の効率化等により、授業準備や生徒理解の時間を十分に取ることができていると思う。	3.0	-	-	・ 評価は昨年とほぼ変わらないが、時間外勤務縮減の項目に改善が見られた。	・ 働き方改革が更に進むよう、工夫・改善に努める。
			3.0	-	-		
36	遠高定時は、働き方改革により、時間外勤務の縮減に努めていると思う。	3.4	-	-			
		3.1	-	-			
学校関係者評価		限られた時間内で効果を得られるようにして努めてほしい。					